

風景づくり先導地区の紹介

浦添市

風景づくり先導地区として認定された浦添グスク跡周辺地区は、市のシンボルである浦添グスクを中心に周辺の地区や道路において、住民の取組、市の事業、浦添前田駅周辺整備や歴史的景観に配慮した沿道のまちなみ形成が進められています。地区住民等を対象とした人材育成事業（沖縄県の景観形成に対する支援策）で実施した取組みを紹介します。

風景づくり先導地区認定要件

要件1 景観地区（県道浦添西原線沿線地区）

・浦添グスク跡であり、市のシンボルロード（浦添都市軸）の一端を担う地区であることから、浦添グスクのバッファゾーンとして、質の高い市街地の形成を図るため、平成27年9月29日に景観地区を指定。

要件2 景観重要公共施設（県道浦添西原線）景観協議会

・平成28年9月30日に県道浦添西原線の区間を景観法に基づき景観重要公共施設に指定。
 ・浦添西原線について、関係行政機関、事業者、地域住民等の様々な立場の関与者が、指定区間内の良好な景観形成を推進するために必要な協議（意見交換）を行うことを目的に設置。

要件3 浦添市景観向上行動計画

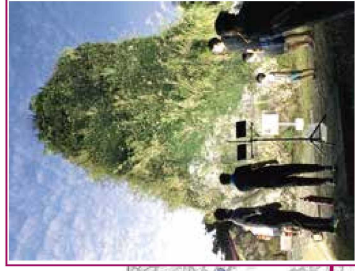
・計画の役割
 道路、公園・緑地、文化財、文化財、都市計画、景観まちづくり等との連携・協力のもと、景観地区指定の景観誘導を対象とした地区やその地区を含む周辺地域の景観向上を図るために必要な取組等（取組等）を明らかにし、具体化につなぐ役割を担うものである。

計画期間

2012（平成24）年度～2021（平成33）年度までの10年間（※R5d改定予定）

基本目標（浦添グスク周辺エリア）

- (1) 浦添グスク周辺にふさわしい景観の形成を広げる
- (2) 緑や歴史文化、賑わいの創出など歩いて楽しくまちづくりを進める
- (3) 地域への愛着を高める



「ワカガジ」ライトアップ



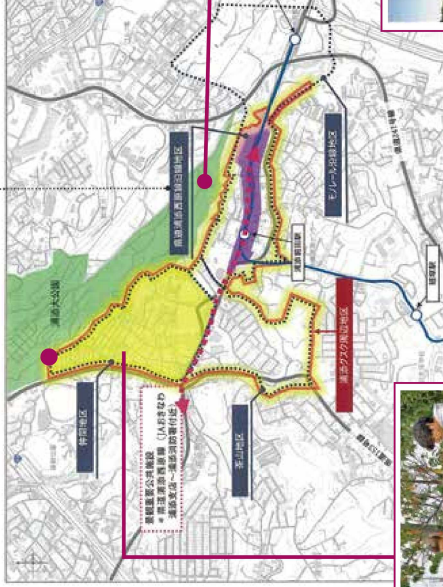
県道浦添西原線沿線地区景観地区の建物等の景観形成イメージ



ヒハットモドキを控え、ブロック塀緑化



実地研修の様子

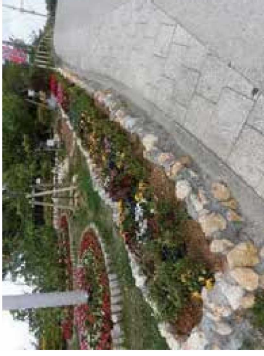


中間地区

浦添グスクのふもと仲間集落を緑と花でいっぱい

琉球王朝の歴史を有する浦添グスクを背後に発展した古い集落であり、浦添市景観まちづくり計画における重要な導的なモデル地区として「重点地区」に定められています。

● 中間自治会が中心となり、伝統のある仲間集落の中央に位置している浦添グスクへ通じる道沿いの緑化、ブロック塀の壁面緑化、よどれ館から浦添グスクまでの沿道花壇整備など、緑いっぱい色とりどりの花であふれる歩いて楽しい沿道景観づくりを行っています。



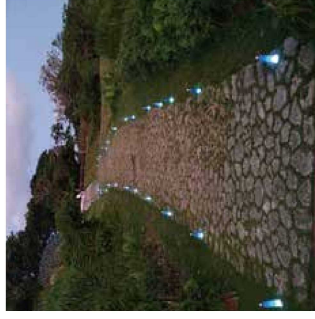
浦添市の魅力アップとアイデンティティの形成に向けて

● 浦添グスク丘陵東端にそびえ立つ巨岩・ワカガジをシンボルとして仰ぐ地区です。井戸や拝所が多く、新暦8月に前田棒術と綱引きが演じられています。市内で最も高いワカガジは、地区の要所、小学校やモノレール車窓からも浦添のランドマークとしての存在感を放っています。

● 浦添グスクにふさわしい風景まちづくりを目指し、浦添市の発展・繁栄・安泰の願いを込めて、浦添グスク東端の巨岩ワカガジのライトアップを実施しています。令和5年度には、前田自治会（OB会・青年会）と前田小学校PTAが共催し、親子で手づくりしたペットボトルライトでワカガジまでの遊歩道ライトアップを実施しました。



令和4年度ワカガジライトアップ



令和5年度遊歩道ライトアップ ※写真提供：前田自治会（OB会・青年会）